

NO	URASキル標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など(最大200字程度)	資料形態	閲覧方法(ウェブ上にある場合はURLを)	言語	キーワード(3つまで、自由に)	入力者名	所属組織・部署	職種＝主な担当業務
1	(1) 研究戦略推進支援業務①政策情報等の調査分析		内閣府・科学技術基本計画	5年ごとに策定されている、国の科学技術政策の方向性を示した科学技術基本計画のウェブサイト。2018年度リサーチ・アドミニストレーター新任研修にて、関連情報源の一つとして例示いただいた。自然科学系だけでなく、人文・社会科学系の様々な分野が参画する研究が推進されており、キーワードは研究戦略推進の支援で参考になる。	ウェブサイト	<a href="http://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index5.html">http://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index5.html</a> (閲覧日:2018年6月11日)	日本語	政策情報、人社系と自然科学系の連携	尾瀬彩子	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
2	(1) 研究戦略推進支援業務①政策情報等の調査分析		Jonas Grønvad, Rolf Hvidtfeldt, David Budtz Pedersen, "ACCOMPLISSH - Analysing co-creation in theory and in practice" (104), (2017)  ACcelerate CO-creation by setting up a Multi-actor PPlatform for Impact from Social Sciences and Humanities Horizon 2020 Grant Agreement No 693477, Work Package 2A	本プロジェクトはSSHのインパクトを測る手法と取り組みを取り扱う文献の調査分析を行っているため、本イベントの目的に最適か。 特に欧州におけるSSHを対象にしている支援対策と政策に関して良い参考になると同時に、今後の取り組みと政策に関する提言にも有益と思われる。人社系をめぐるCo-Creationの理論と実践を取り組む事例を踏まえた結論の一環として、これからのSSHが如何に社会のあらゆるステークホルダーと体系的にCo-CreationによるImpactの創出することが全社会的課題であって、大学等の研究支援者の役割も重要である等のポイントもみられます。	PDF		英語	Co-Creation, Impact, Research Support	クリスチャン・ペーリン	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
3	(1) 研究戦略推進支援業務①政策情報等の調査分析		川人よし恵 (2017) 「“ここ”だけで終わらせてはもったいない! 人文学・社会科学振興の議論—日本学術振興会・大阪大学共催シンポジウム開催報告「人文学・社会科学研究振興に向けた制度設計・活用のこれから Research for Tomorrow's Society, Tomorrow for Younger Researchers」」, 大阪大学URAメールマガジン vol. 50, 大阪大学経営企画オフィスURA部門, 2017年11月.	手前味噌で恐縮ですが、2017年11月にJSPS・大阪大学共催で開催した人社振興をテーマにしたシンポジウムの報告記事。リンク先も参照するとJSPSトップダウン型資金配分プログラムについて概要が分かるほか、複数大学のスター研究者による日本の人社振興に向けた提案等も興味深い。人社振興の議論を実践につなげる難しさを感じるが、「人社系の教育・研究の成果は、公共財である」という大竹文雄先生の主張は心の支えになるかも。	記事	<a href="https://www.ura.osaka-u.ac.jp/uramagazine/vol_05_0.html#01">https://www.ura.osaka-u.ac.jp/uramagazine/vol_05_0.html#01</a> (閲覧日:2018年6月9日)	日本語	JSPS、人文・社会科学系分野の資金配分、人文・社会科学系分野の課題	川人よし恵	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
4	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		TSUKUBA index	筑波大学人文社会系が独自に開発したiMDを用いることによって、学術誌の多様性をはかることが可能となりました。世界大学ランキング等に用いられているデータベースに収録されていない学術誌は、従来評価の対象となっていなかったわけですが、iMDによって言語・国を問わず、すべての学術誌を定量的に評価することができます。	ウェブサイト	<a href="https://icrhs.tsukuba.ac.jp/tsukuba-index/">https://icrhs.tsukuba.ac.jp/tsukuba-index/</a>	日本語	iMD、指標、index	森本 行人	筑波大学 URA研究戦略推進室	URA・IRer
5	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		NISTEP 論文ベンチマーキング調査専用ページ	個別指標(①論文数、②Top10%・Top1%補正論文数)と、複合指標(③論文数に対するTop10%補正論文数の占める割合)により、分野比較を含め、多角的に主要国の論文分析が可能となり、執行部への説明資料として有用です。	ウェブサイト	<a href="http://www.nistep.go.jp/research/science-and-technology-indicators-and-scientometrics/benchmark">http://www.nistep.go.jp/research/science-and-technology-indicators-and-scientometrics/benchmark</a>	日本語	論文、ベンチマーキング、NISTEP	森本 行人	筑波大学 URA研究戦略推進室	URA・IRer
6	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		SPIAS [SciREX STI政策プラットフォーム]ベータ版	登録制のWebプラットフォームです。①CRDS俯瞰報告書・研究開発領域、②研究機関、③研究者、④研究課題、⑤事業区分の5つのデータベースから成っており、例えば、ある研究者の競争的資金履歴などを1画面で見ることができます。 【HPより】本システムは、科学技術イノベーション政策評価のPDCA サイクルの実現に寄与するため、科学技術政策による研究開発の成果を定量的かつ定性的に把握し、政策・資源投入から科学技術の発展(知識の増大)・社会実装までのイノベーション・プロセス全体を個々の要素技術レベルで指標化・可視化する方法について検討を行うための試作システムである。	ウェブサイト	<a href="http://spias.grips.ac.jp/">http://spias.grips.ac.jp/</a>	日本語	PDCAサイクル、科学技術政策、研究課題	森本 行人	筑波大学 URA研究戦略推進室	URA・IRer
7	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		DEIM Forum 2017 F5-2	紹介する論文は、組織の構成要素である部局に着目し、部局横断型共同研究の活発さの分析に利用できる指標を検討した論文。科学研究費助成事業の研究課題集合を用いた実験を行い、既存指標の問題点と学際性フレームワークの転用の有効性を示した。科研費分析は最も多くの研究者が応募する事業であるため、学術および開発事業提案の資料として有効である。特に文系においては、論文にはならないケースもあるため、重要な指標となる。	論文	<a href="http://db-event.jpn.org/deim2017/proceedings.html">http://db-event.jpn.org/deim2017/proceedings.html</a>	日本語	科研費、異分野融合分析、研究力分析	廣瀬まゆみ	同志社大学・研究推進機構	URA・IRer
8	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		『大学とは何か』吉見俊哉(岩波新書)	ここ最近の仕事関係の参考書。今現在机周りにある本。	書籍		日本語	大学の理念、定義、歴史	稲石 奈津子	京都大学学術研究支援室	URA・IRer
9	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		『オックスフォードから警鐘』荻谷剛彦(中公新書ラクレ)	ここ最近の仕事関係の参考書。今現在机周りにある本。	書籍		日本語	グローバル化、文系学問の位置、日本の文系の強み	稲石 奈津子	京都大学学術研究支援室	URA・IRer

NO	URASキール標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など(最大200字程度)	資料形態	閲覧方法(ウェブ上にある場合はURLを)	言語	キーワード(3つまで、自由に)	入力者名	所属組織・部署	職種＝ 主な担当業務
10	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		「「選択と集中」：選択的資源配分を前提とする研究評価事業がもたらす意図せざる結果に関する組織論的研究」佐藤郁哉	ここ最近の仕事関係の参考書。今現在机周りにある本。	論文	<a href="https://doors.doshisha.ac.jp/duar/repository/ir/24687/?lang=0&amp;mode=1&amp;opkey=R152990302029712&amp;idx=2&amp;chk_sc_hema=10000">https://doors.doshisha.ac.jp/duar/repository/ir/24687/?lang=0&amp;mode=1&amp;opkey=R152990302029712&amp;idx=2&amp;chk_sc_hema=10000</a>	日本語	REF、評価、指標	稲石 奈津子	京都大学学術研究支援室	URA・IRer
11	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		ライデン・マニフェスト(翻訳版)	ここ最近の仕事関係の参考書。今現在机周りにある本。	マニフェスト	<a href="http://www.nistep.go.jp/activities/sti-horizon誌/vol-02no-04/stih00050">http://www.nistep.go.jp/activities/sti-horizon誌/vol-02no-04/stih00050</a>	日本語	評価、指標	稲石 奈津子	京都大学学術研究支援室	URA・IRer
12	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		Inciting the metric oriented humanist: teaching bibliometrics in a faculty of humanities	文系の研究者に対して論文・著書の数・引用数以外の項目で顕彰を行うべきかの検討を行った際に読んでいくつかのpaperの中で、分りやすかった。	Article	<a href="https://www.researchgate.net/publication/301239717_inciting_the_metric_oriented_humanist_teaching_bibliometrics_in_a_faculty_of_humanities">https://www.researchgate.net/publication/301239717_inciting_the_metric_oriented_humanist_teaching_bibliometrics_in_a_faculty_of_humanities</a>	英語	bibliometrics	奥津佐恵子	名古屋市立大学・URAオフィス	URA・IRer
13	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		ENRESSH(European network for research evaluation the social science and the humanities)	ENRESSHはCOST(European cooperation in science and technology) actionの一つ。その目標は、人文社会分野の学界及び社会における真の位置を明らかにできるようにすることであり、その方法として、ヨーロッパ各地で行われている人文社会系に対する評価研究の成果を統合することである。COST自体が理系のファンディングであることから、人社系の研究評価にもこれまでのピアレビューだけでなく、ビブリオメトリクスなども積極的に取り入れようという姿勢が見え、学ぶ点が多い。	ウェブサイト	<a href="http://enressh.eu/">http://enressh.eu/</a>	英語	研究評価、人文社会	押海圭一	人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 IR室	URA・IRer
14	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		藤垣裕子、平川秀幸、富澤宏之、調麻佐志、林隆之、牧野淳一郎(2004)『研究評価・科学論のための科学計量学入門』丸善株式会社	指標というものの基本的な考え方・使い方から計量書誌学的アプローチによる研究評価まで幅広く書かれた本。研究評価の基本がわかる良書であるが、これ以降研究評価に関する和書がほとんど出ていないようなので、現在の状況も踏まえてアップデートされたものが出ることに期待している。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	計量書誌学、科学計量学、Resrarch on Research	押海圭一	人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 IR室	URA・IRer
15	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		KH Coder 3 チュートリアル	研究者へのインタビューを大量にテキスト化したときに、これをうまく分析出来ないかと思って知人に相談したところ、テキストマイニングという手法があることを教えてもらいました(まだまだ使いこなせてはいませんが……)。	ウェブサイト	<a href="http://khcoder.net">http://khcoder.net</a> <a href="http://khcoder.net/kh_tuto.html">http://khcoder.net/kh_tuto.html</a>	日本語	テキストマイニング、KH Coder	神谷俊郎	京都大学学術研究支援室	URA・IRer
16	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		樋口耕一著(2014)『社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して』ナカニシヤ出版.	上記で紹介したソフトウェア「KH Coder」のマニュアルです。	書籍		日本語	テキストマイニング、KH Coder	神谷俊郎	京都大学学術研究支援室	URA・IRer
17	(1) 研究戦略推進支援業務②研究力の調査分析		科学研究費助成事業データベースKAKEN	文部科学省および日本学術振興会が実施する科学研究費助成事業により行われた研究のデータが収録されたデータベース。人文・社会科学系も含めた全ての学問領域の最新の研究情報について検索することができる。人文社会系の機関別の研究力の把握、特に最新の動向を知るには、唯一の客観的な情報ツールと考える。	ウェブサイト	<a href="https://kaken.nii.ac.jp/ja/">https://kaken.nii.ac.jp/ja/</a>	日本語	科研費、機関別、研究力の把握、学術動向	丸山浩平	早稲田大学研究戦略センター	URA・IRer
18	(1) 研究戦略推進支援業務③研究戦略策定		『世界大学ランキングと知の序列化』石川真由美編(京都大学学術出版会)	ここ最近の仕事関係の参考書。今現在机周りにある本。	書籍		日本語	大学の評価、研究力、指標	稲石 奈津子	京都大学学術研究支援室	URA・IRer
19	(1) 研究戦略推進支援業務③研究戦略策定		Scimago Journal & Country Rank	エルゼビア社の提供するSJRによる分野別ジャーナルランキング。SJRランキングに基づき、早稲田大学ではインパクトの高いジャーナルに論文がアクセプトされた際の、オープンアクセス費用等の経費を支援している(ハイ・インパクトジャーナル掲載支援プログラム)。	ウェブサイト	<a href="https://www.scimagoir.com/">https://www.scimagoir.com/</a>	英語	SCOPUS、ジャーナル、ランキング	横山 明德	早稲田大学研究推進部	事務職員
20	(1) 研究戦略推進支援業務③研究戦略策定		SENSE RANKING OF ACADEMIC PUBLISHERS	SENSE(Socio-Economic and Natural Sciences of the Environment)の提供する学術出版社のランキング。リストは2009年以降更新されていないようだが、学術出版社のランキングは公になっているものが少ないことから、書籍出版を検討する際に参考となる。	ウェブサイト	<a href="http://www.sense.nl/gfx_content/documents/ABCDE-Indelning%20Scientific%20Publishers%20SENSE%20approved%20May%202009.pdf">http://www.sense.nl/gfx_content/documents/ABCDE-Indelning%20Scientific%20Publishers%20SENSE%20approved%20May%202009.pdf</a>	英語	出版社、ランキング	横山 明德	早稲田大学研究推進部	事務職員

NO	URAスキル標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など(最大200字程度)	資料形態	閲覧方法(ウェブ上にある場合はURLを)	言語	キーワード(3つまで、自由に)	入力者名	所属組織・部署	職種＝主な担当業務
21	(1) 研究戦略推進支援業務③研究戦略策定		Humanomics Research Centre: Mapping the Public Value of Humanities	UCPHのHumanomics Research Centreがオールボーグ大学に移って、人文学の歴史的・思想的・実用的な実施とインパクトをマッピングする作業を持続している結果として、「研究分野の論争-人文学研究における知識と学識の在り方」(2015年)及び「人間をめぐる論争」(2018年)がデンマーク語で発表され、人文学研究の動向の分析からインパクト理論及び政策の提言まで幅広く活動。下記 Horizon 2020のプロジェクト等のように、グローバルに人文学の動向分析と政策の提言において注目する値がありそうです。	ウェブサイト	<a href="http://www.mapping-humanities.dk/group.html">http://www.mapping-humanities.dk/group.html</a>	英語	マッピング、思想史、インパクト	クリスチャン・ペーリン	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
22	(1) 研究戦略推進支援業務③研究戦略策定		"Mapping Frontier Research in the Humanities" (256 pp), Bloomsbury Academic	欧米の大学におけるリベラルアーツ・人文学の概念は近年変動を見せている中、最先端の人文学研究におけるその変動のマッピングがテーマです。主に研究の在り方と人文学の学問を創出する研究機関へ及ぼされる影響を対象に、異分野間の交流を経て、社会との関わり方の変遷を軸に論じ、メトリクスのみ議論を避けながら、古典的とポスト・アカデミックなケーススタディを交えて、21世紀の人文学研究によるアカデミックリーダーシップの新しい「型」を探っている点では、人文学を中心に考える学術政策をの示唆に富んでいる。	書籍	<a href="https://www.bloomsbury.com/uk/mapping-frontier-research-in-the-humanities-9781472597687/">https://www.bloomsbury.com/uk/mapping-frontier-research-in-the-humanities-9781472597687/</a>	英語	変動、政策、ケーススタディ	クリスチャン・ペーリン	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
23	(1) 研究戦略推進支援業務③研究戦略策定		David Budtz Pedersen, Frederik Stjernfelt, Simo Koppe et al. "Kampen om Disciplinerne (分野をめぐる論争)" (432 pp), Hans Rietzels Forlag (2015)	本は、現状における人文学研究と対象・テーマと手法が著しく社会学に寄りかかり、人文学の認識が研究者の間でも確認できる。それを問題視するより、異間融合のさらなるインパクトの可能性が注目される一方、「権力」等をめぐるテーマと社会還元によって役に立つイノベティブな人文学が新しい姿を見せる中、人文学の「植民地化」現象の警鐘を鳴らしつつ、人文学の担い手(研究機関の学科と各国の政策責任者)が自ら人文学の特異性を再発見する課題に注目するポイントが日本にとっても参考になるかと思えます。	書籍		デンマーク語	アイデンティティ、融合、特異性	クリスチャン・ペーリン	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
24	(1) 研究戦略推進支援業務③研究戦略策定		琉球大学建学の理念	琉球大学の研究推進のために何をすべきを考える際、建学の精神「自由と平等・寛容と平和」に立ち返る。	ウェブサイト等	<a href="http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/general/ideology_and_goals.html">http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/general/ideology_and_goals.html</a>	日本語		高橋そよ	琉球大学研究推進機構研究企画室	URA・IRer
25	(1) 研究戦略推進支援業務③研究戦略策定		"共食"	書誌ではないが、研究担当理事や研究推進課だけではなく、学内の様々な部局や立場のひとと、一緒にお昼ご飯を食べることで、学内に信頼の置ける仲間をつくり、大学経営の暗黙知や技術を学ぶ。別名：ドラえもんポケット、知識の外付けハードディスク	コミュニケーションの実践			コミュニケーション、実践	高橋そよ	琉球大学研究推進機構研究企画室	URA・IRer
26	(2) プレアワード業務①研究プロジェクト企画立案支援		SDGsから見た学術会議 —社会と学術の関係を構築する—	2015年9月に国連総会が決議した「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」については、国連や外務省のウェブサイトに詳しく説明されているが、学術会議からの提言とどう関連付けられているかが整理されていて分かりやすい。内容を追いたい事項があれば、関連する委員会や分科会が記されているので、議事録等チェックしに行ける。	ウェブサイト	<a href="http://www.sci.go.jp/ia/sci/sdgs/index.html">http://www.sci.go.jp/ia/sci/sdgs/index.html</a>	日本語	SDGs 日本学術会議	奥津佐恵子	名古屋市立大学・URAオフィス	URA・IRer
27	(2) プレアワード業務①研究プロジェクト企画立案支援		code for Nagoya	シビックテックとはテクノロジーを活用した市民・社会課題の解決を目指す取り組みで、テクノロジーは一見人社会とは距離がありそうだが、code for Nagoyaのような全国各地で展開されるcode for ○○は、「市民が主体となり、地域課題解決に取り組むコミュニティ作り支援や、テクノロジーを活用したアクションを創発する活動を支援していく集まり」と詠っており、人社会研究と非常に親和性があるように感じており、相互の分野の研究を紹介する試みを行っている。	ウェブサイト	<a href="http://code4.nagoya/">http://code4.nagoya/</a>	日本語	シビックテック 地域課題解決	奥津佐恵子	名古屋市立大学・URAオフィス	URA・IRer
28	(2) プレアワード業務①研究プロジェクト企画立案支援		Civic Tech Forum 2018	シビックテックとはテクノロジーを活用した市民・社会課題の解決を目指す取り組みで、テクノロジーは一見人社会とは距離がありそうだが、code for Nagoyaのような全国各地で展開されるcode for ○○は、「市民が主体となり、地域課題解決に取り組むコミュニティ作り支援や、テクノロジーを活用したアクションを創発する活動を支援していく集まり」と詠っており、人社会研究と非常に親和性があるように感じており、相互の分野の研究を紹介する試みを行っている。	ウェブサイト	<a href="http://2018.civictechforum.jp/">http://2018.civictechforum.jp/</a>	日本語		奥津佐恵子	名古屋市立大学・URAオフィス	URA・IRer

NO	URAスキル標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など(最大200字程度)	資料形態	閲覧方法(ウェブ上にある場合はURLを)	言語	キーワード(3つまで、自由に)	入力者名	所属組織・部署	職種＝ 主な担当業務
29	(2) プレアワード業務 ①研究プロジェクト企画 立案支援		NORDPリサーチデベロップメントノウハウ集	リサーチデベロップメント(チーム研究や機関で戦略的に取り組む研究を開発すること)の専門人材ネットワークであるNORDPがウェブサイトで公表しているノウハウ集。連邦政府予算の獲得マネジメントに関する知識を集約している。 Grantプロポーザルの書き方(アカデミックライティングとの違い)や、政府機関担当者とのコンタクトのやり方、学内でチーム研究を進める場合の契約書フォームなど、実務者に有用なナレッジがまとめられている。NORDPでは人文・社会科学系の研究に関する議論も必ず取り上げられている。	ウェブサイト	<a href="https://www.nordp.org/resource-links">https://www.nordp.org/resource-links</a>	日本語	リサーチデベロップメント	丸山浩平	早稲田大学研究戦略センター	URA・IRer
30	(2) プレアワード業務 ①研究プロジェクト企画 立案支援		川辺みどり(2017)『海辺に学ぶ: 環境教育とソーシャル・ラーニング』東京大学出版会	学際的な社会課題解決型研究を企画する際の参考文献①教育と研究	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	研究倫理、アウトリーチ	高橋そよ	琉球大学研究推進機構研究企画室	URA・IRer
31	(2) プレアワード業務 ①研究プロジェクト企画 立案支援		佐藤哲(2016)『地域環境学: トランスディシプリナリー・サイエンスへの挑戦』東京大学出版会	学際的な社会課題解決型研究を企画する際の参考文献①研究者の欠如モデル	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	研究倫理、アウトリーチ	高橋そよ	琉球大学研究推進機構研究企画室	URA・IRer
32	(2) プレアワード業務 ②外部資金情報収集		佐藤成美(2013)『ビジュアル図解 科研費のしくみと獲得法がわかる』誠文堂新光社	若手研究者、研究者志望の大学院生に読ませたい科研費のガイドブック。読みやすく可愛い。研究費獲得の必要性やモチベーションアップ、概要紹介のために、研究推進部署に1冊置いておき、新たに着任した(科研費の知識がない)ポスドク、研究者としての意識を植え付けたい大学院生、研究支援の経験がない職員などに貸し出せる体制があると、外部資金獲得に向けた組織の風土構築に役立つと考える。	書籍	書店/図書館等 出版社サイト <a href="http://www.seibundo-shinkosha.net/products/detail.php?product_id=3854">http://www.seibundo-shinkosha.net/products/detail.php?product_id=3854</a>	日本語	科研費、若手研究者、URA	片山詩朗	同志社大学研究開発推進機構	URA・IRer
33	(2) プレアワード業務 ②外部資金情報収集		国立研究開発法人日本医療研究開発機構サイト	医療分野のファンディングが中心のサイトですが、それぞれの事業趣旨を熟読すると社会科学系に求められる要素が含まれるものがあります。社会科学系の研究者にとってこれまでは馴染みの薄かったが、これからは関連のある配分資金であることを普及していく際に活用できます。	ウェブサイト	<a href="https://www.amed.go.jp/">https://www.amed.go.jp/</a>	日本語/英語		川井享代	神戸大学学術・産業イノベーション創造本部	URA・IRer
34	(2) プレアワード業務 ②外部資金情報収集		厚労省サイト	医療分野のファンディングが中心のサイトですが、それぞれの事業趣旨を熟読すると社会科学系に求められる要素が含まれるものがあります。社会科学系の研究者にとってこれまでは馴染みの薄かったが、これからは関連のある配分資金であることを普及していく際に活用できます。	ウェブサイト	<a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/</a>	日本語/英語		川井享代	神戸大学学術・産業イノベーション創造本部	URA・IRer
35	(2) プレアワード業務 ②外部資金情報収集		academist	研究費獲得に特化したクラウドファンディングサイト。競争的資金を得られない研究課題等に対し、一般市民から直接資金を募ることができる。リターン(謝礼)の設定ははじめ様々な場面で運営会社のサポートがある。研究者にとっては資金調達の手続きとなりうる。小額から可能で人系の研究も多い。研究者個人の動きにとどまらず大学が組織として関わっている例がどのくらいあるのか不明だが、類似のサイト・会社も含め、取り入れていく価値はあると考える。	Webサイト	<a href="https://academist-cof.com/beginners/academist">https://academist-cof.com/beginners/academist</a>	日本語	クラウドファンディング、リターン	片山詩朗	同志社大学研究開発推進機構	URA・IRer
36	(2) プレアワード業務 ②外部資金情報収集		財団助成センターHP	民間財団の研究助成をはじめとした各種公募を様々な条件から検索することができる。一般的な研究助成のほか、機器購入や講演会開催に絞った助成、研究を趣旨としてないが研究者も応募できるものなど、通常入ってこない情報も検索できる。「採択課題名からの検索」は意外と使える。	ウェブサイト	<a href="http://www.jfc.or.jp/">http://www.jfc.or.jp/</a>	日本語	民間財団、研究助成、データベース	片山詩朗	同志社大学研究開発推進機構	URA・IRer
37	(2) プレアワード業務 ②外部資金情報収集		科学研究費助成事業データベース	科研費申請の働きかけの基礎資料となります。	ウェブサイト	<a href="https://kaken.nii.ac.jp/ja/">https://kaken.nii.ac.jp/ja/</a>	日本語	科研費	小金丸貴志	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部	URA・IRer
38	(2) プレアワード業務 ⑤申請資料作成支援		URAのためのURAによる副読本(2014年5月号)	URA Know How #1~#10は適宜参照して、関連業務にあたっています。	書籍風	学外配布可	日本語	競争的資金	高野誠	大阪大学・経営企画オフィス	URA・IRer
39	(3) ポストアワード支援 ②プロジェクトの進捗管理		会場・宿泊施設一覧	大阪大学に関連する施設について、独自に作成した資料。更新が必要。	個人まとめ		日本語	大阪大学、会場、宿泊	山田 綾子	大阪大学大学院法学研究科	URA・IRer

NO	URAスキル標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など(最大200字程度)	資料形態	閲覧方法(ウェブ上にある場合はURLを)	言語	キーワード(3つまで、自由に)	入力者名	所属組織・部署	職種＝主な担当業務
40	(4) 関連専門業務②国際連携支援		石川真由美編(2016)『世界大学ランキングと知の序列化』京都大学学術出版会.	世界大学ランキングについて、概要や仕組み、問題点、海外の事例、新たな研究評価の開発などについて考察した論考。ランキングの仕組みや評価指標、人文・社会科学分野が置かれている土壌、英国やオランダの研究成果の可視化の取り組みなど、国際連携にかかわる基礎知識を学ぶことができる。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	世界大学ランキング、研究評価	尾瀬彩子	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
41	(4) 関連専門業務②国際連携支援		Scott Dominic; Jarrick Arne; Holm Poul: Humanities World Report (230 pp), PALGRAVE MACMILLAN (2015)	2015年の時点で、人文学の研究課題と研究の手法などを含めて、人文学の状況を対象にした調査は、グローバルな視野で各国の政策などにも触れ、人文学の研究国際的動向と取り組みを比較するのに有益な資料とみています。	書籍	<a href="https://link.springer.com/book/10.1057/9781137500281">https://link.springer.com/book/10.1057/9781137500281</a>	英語	グローバル、価値観、政策	クリスチャン・ペーリン	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
42	(4) 関連専門業務②国際連携支援		HERA Report: "Feasibility Study: the Evaluation and Benchmarking of Humanities Research in Europe"	HERAを紹介する価値があるそうです。本資料はベンチマーキングの調査・報告系ですが、HERAのHPは欧州の取り組みに関して情報収集したい場に役に立つかと思えます。欧州のFA等が人文学に特化した支援対策と支援、または支援したプロジェクトに関する情報は入手可能ですが、金銭的支援が得られるのは欧州の国に限定しています。ここで例に挙げているレポートのPDFはWEB検索しても当たらない場合、ペーリンまでお問い合わせください。	報告書	HERAについて: <a href="http://heranet.info/">http://heranet.info/</a>	英語	HERA、支援、ベンチマーキング	クリスチャン・ペーリン	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
43	(4) 関連専門業務⑤研究機関としての発信力強化推進		近大コメンテーターガイド(近畿大学教員名鑑)	一言で言えば「メディアが使いやすい研究者データベース」。ジャンル分けやキーワードタグの設置により、事件が起きたときにマスコミ各社が専門的な立場からコメントや解説ができる教員を容易に探し出せるように設計され、取材申込フォームも設置されている(広報室の対応も早い)。冊子版もありマスコミに配布とのこと。近大は広報が一元化されており、学内の体制の面でも学ぶことが多い。全てを真似ることは難しくとも、シーズ集や研究広報サイト等の作成の際には、上記サイトで取り入れられている各種工夫は参考になると考えます。	ウェブサイト	<a href="http://www.kindai.ac.jp/meikan/index.html">http://www.kindai.ac.jp/meikan/index.html</a>	日本語	研究広報、データベース、近畿大学	片山詩朗	同志社大学研究開発推進機構	URA・IRer
44	(4) 関連専門業務⑥研究広報関連		宮崎哲也(著) ポケット図解 フィリップ・コトラーの「マーケティング論」がわかる本	マーケティングの世界的第一人者フィリップ・コトラーが唱えた膨大なマーケティング理論や考え方を平易な文章でまとめた入門書。研究広報もユーザー設定に基づく設計なくして効果的な広報はおこなえません。「いつ、誰に、何を、どうやって」とユーザー思考の学ぶためのおススメの一冊。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	研究広報、マーケティング思考、差別化	館正一	関西大学・学長室	URA・IRer
45	(4) 関連専門業務⑥研究広報関連		佐藤尚之(著)『明日のコミュニケーション「関与する生活者」に愛される方法』アスキー新書	ネットメディア・SNSの登場により、生活者の行動が大きく変わり、新しいコミュニケーションの在り方、アプローチ法を提示してくれる指南書。小さな力で大きな影響を求められる広報の業務に役立つ一冊。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	SNS、研究広報、コミュニケーション	館正一	関西大学・学長室	URA・IRer
46	(4) 関連専門業務⑥研究広報関連		ギルバート、ジョン・K、ストックマイヤー、スーザン編著(2015)『現代の事例から学ぶサイエンスコミュニケーション—科学技術と社会の関わり、その課題とジレンマ—』小川義和、加納圭、常見俊直 監訳、築地書館。	サイエンスコミュニケーションにおける現在の課題や発展について興味・関心がある人に向けた教科書。特に第2章「科学との対話—サイエンスコミュニケーションのモデル—」は、人社系のアウトリーチ活動を企画・運営する際、分野特性に応じてどのようなコミュニケーションの方法を設計するのが望ましいのか検討するための参考になる。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	アウトリーチ、コミュニケーション	川人よし恵	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer
47	(4) 関連専門業務⑨倫理・コンプライアンス関連		渡邊卓也(2018) 非医学系研究の倫理審査に関する情報公開。対人援助学研究, 7, 37-43.	研究倫理審査(※)に関する体制をこれから整備または再編、補強しようとする機関にとって参考になるかもしれない論文(査読付)。倫理審査に関する基幹情報(規程、様式、議事要旨等)の各大学(私大連盟加盟122校)での公開状況を整理しており、情報公開の姿勢に関する示唆も読み取れる。医学研究以外でも研究倫理審査の必要性が高まっている中での状況整理的な研究ノート。※この論文では、研究公正(不正)の文脈での研究倫理ではなく、人を対象とする研究倫理審査が扱われている。	論文	<a href="http://www.humanservices.jp/pdf/vol7_watanabe.pdf">http://www.humanservices.jp/pdf/vol7_watanabe.pdf</a>	日本語	研究倫理審査、情報公開	片山詩朗	同志社大学研究開発推進機構	URA・IRer
48	(4) 関連専門業務⑨倫理・コンプライアンス関連		眞嶋俊造・奥田太郎・河野哲也(2015)『人文・社会科学のための研究倫理ガイドブック』慶應義塾大学出版会。	科研費基盤研究(B)「『新しい』専門職の職業倫理:理論と実践の架橋を目指す領域横断型研究」(課題番号25284001)の成果の一つとして出版された本。研究者の現状や内在的なものに着目した内容で、研究方法別・分野別のコラムを始めとするリアルな事例など、自分の研究に照らして考えたり、周りの人たちとディスカッションしたりする材料がふんだんに盛り込まれており、人社系分野における研究倫理の論点を知るきっかけになる。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	研究倫理、研究公正	川人よし恵	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer

NO	URAスキル標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など(最大200字程度)	資料形態	閲覧方法(ウェブ上にある場合はURLを)	言語	キーワード(3つまで、自由に)	入力者名	所属組織・部署	職種＝主な担当業務
49	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		スティーブン P. ロビンス著(2009)『【新版】組織行動のマネジメントー入門から実践へ』高木晴夫訳, ダイヤモンド社.	研究を支援する対象者である、研究グループやPIをよく把握して、組織が有機的に動くよう促したり、リーダーのやる気を引き出すことはとても重要なことと思います。この本は組織行動学の教科書的存在で、困ったときに本を開くと、何かしらヒントや新たな視野を与えてくれます。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	組織行動学、リーダーシップ、組織文化	花岡 宏亮	大阪大学共創推進部社会学共創課	事務職員
50	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		伝わるデザインの基本 よい資料を作るためのレイアウトのルール	美しいレイアウト・デザインのパワーを侮ってはいけません。整理された思考を瞬時に伝達でき、確実に採択の要因になれると思います。また、人社系の方にも図を上手に活用していただきたいと思います。自分には美的なセンスがない、と思われている方も、基本ルールを押さえるだけでもかなり良くなります。	書籍	<a href="https://tsutawaru.net/">https://tsutawaru.net/</a>	日本語		岡野恵子	横浜市立大学・URA推進室	URA・IRer
51	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		大人のための国語ゼミ	科研費申請書を書く人、チェックする人は必読。そうでない人も是非、読んで欲しい!なぜこの文章は分かりにくいのか、どうやったら分かりやすくなるのか、を論理的に考えることができます。皆が分かりやすく簡潔な文章を書くようになれば、私達の仕事は結構楽になると思います。	書籍		日本語		岡野恵子	横浜市立大学・URA推進室	URA・IRer
52	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		超・箇条書き	上手にまとめられた箇条書きはリズム感良く、ずっと頭に入って残ります。「伝えたい」時にはとても便利なツールです。本書は、ダメな箇条書きのどこがどうしてダメなのか、どうすると良くなるのか、ポイントを押さえて教えてくれます。	書籍		日本語		岡野恵子	横浜市立大学・URA推進室	URA・IRer
53	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		『13歳からの論理ノート 「考える」ための55のレッスン』小野田 博一 PHP	筋の通った説明は全ての業務の基本。	書籍		日本語		岡野恵子	横浜市立大学・URA推進室	URA・IRer
54	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		研究・イノベーション学会年次学術大会要旨集	研究・イノベーション学会(旧:研究・技術計画学会)の年次学術大会において、過去約30年間で発表された研究成果の要旨を閲覧することができる。要旨とはいっても、多くの内容が盛り込まれており、非常に参考となる情報も得られる。例えば“人文・社会科学”で検索しても、「原子力分野における人文・社会科学の現状と展望」「我が国における人文・社会科学系博士課程修了者の進路動向」「文理連携プロジェクトの推進に向けた大学内マネジメントのあり方」など、111件の研究成果が報告されている。	ウェブサイト	<a href="https://dspace.jaist.ac.jp/dspace/handle/10119/5045">https://dspace.jaist.ac.jp/dspace/handle/10119/5045</a>	日本語	研究開発、イノベーション、研究経営、科学技術イノベーション政策、学術研究、研究交流	丸山浩平	早稲田大学研究戦略センター	URA・IRer
55	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ	研究者のモチベーションを引き出すコミュニケーションスキル	「コーチングの基本」日本実業出版社 鈴木義幸 監修、コーチ・エイ著 2009年	URAが研究者とコミュニケーションをする際には、研究者の内発的動機を引出すことが重要。傾聴、質問、承認から構成されるコーチングスキルはビジネス分野では活用されているが、大学現場での導入はこれから。コーチングスキルの活用は研究者のマネジメント能力を高めることにも活用できる。	書籍		日本語		島岡未来子	早稲田大学	URA・IRer
56	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		多田容子(2008)「新陰流 サムライ仕事術」マガジンハウス	目の前にあるあらゆるもののことを、無意識のうちに刷り込まれていて常識の基準で見るといったんやめると、より高次元へのぼるための視野が開かれ、新たな発想が生まれる可能性が高まることを教えてくれる。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語		池田雅夫	大阪大学 共創機構 産学共創本部	URA・IRer
57	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		大竹文雄(2015)「経済学のセンスを磨く」日本経済新聞出版社	普段の人々の行動には、経済合理性からズレていることも多い。また、一見、常識に反しており、非合理に見えても、大局的には合理的なことがある。研究戦略や大学経営の支援においては、このようなことを念頭において、支援対象者に接するのがよい。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語		池田雅夫	大阪大学 共創機構 産学共創本部	URA・IRer
58	(5) その他①様々な業務に汎用的な知識・ノウハウ		大竹文雄(2017)「競争社会の歩き方 自分の「強み」を見付けるには」中央公論新社	競争が無ければ、自分の強みも弱みも分からないということを指摘している。研究戦略や大学経営の支援においては、自分本位ではなく、他者の視点を理解することが必要であることを被支援者に説く必要がある。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語		池田雅夫	大阪大学 共創機構 産学共創本部	URA・IRer
59	(5) その他②研究成果発表		C. S. Langham『国際学会English 挨拶・口演・発表・質問・座長進行 English for Oral and Poster Presentations』(医歯薬出版株式会社、2013)	国際シンポジウムで司会進行をするにあたり、参考にするため購入。スピーカーもしくはモデレーター視点で書かれている。全体進行やロジをモデルとしたものがあればぜひ紹介したいです。	書籍	書店で購入	日本語	国際学会、運営、英語	山田 綾子	大阪大学大学院法学研究科	URA・IRer

NO	URASキル標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など(最大200字程度)	資料形態	閲覧方法(ウェブ上にある場合はURLを)	言語	キーワード(3つまで、自由に)	入力者名	所属組織・部署	職種＝主な担当業務
60	(5) その他②研究成果発表		UTokyo English Academia 英語で教えるための英語学習	「英語で教えるための」というのはなかなかないと思います。無料なのになかなか利用者が増えていないようでもったいない! どんどん使ってフィードバックして、よりよいものにしていただきたいと思います。	eラーニングサービス	<a href="https://utokyo-ea.com/">https://utokyo-ea.com/</a>	日本語		岡野恵子	横浜市立大学・URA推進室	URA・IRer
61	(5) その他②研究成果発表		edanz Autor Path (論文執筆支援ツール)	英文翻訳・校正や英語論文セミナーなどで知られるエダズ社の新しいサービスです。ジャーナリストに人社系の雑誌もでていましたので、人社系の方も使えるのだと思います。	ウェブサイト	<a href="https://jp.author-path.com/?utm_source=internal&amp;utm_medium=email&amp;utm_campaign=beta-invite&amp;utm_source=%5BJAPAN%5D+Master&amp;utm_campaign=df544b212b-EMAIL_CAMPAIGN_2018_05_19_COPY_01&amp;utm_medium=email&amp;utm_term=0_07868734ad-df544b212b-176540961&amp;mc_cid=df544b212b&amp;mc_eid=4d5f04681b">https://jp.author-path.com/?utm_source=internal&amp;utm_medium=email&amp;utm_campaign=beta-invite&amp;utm_source=%5BJAPAN%5D+Master&amp;utm_campaign=df544b212b-EMAIL_CAMPAIGN_2018_05_19_COPY_01&amp;utm_medium=email&amp;utm_term=0_07868734ad-df544b212b-176540961&amp;mc_cid=df544b212b&amp;mc_eid=4d5f04681b</a>	日本語		岡野恵子	横浜市立大学・URA推進室	URA・IRer
62	(5) その他③若手支援	問題解決のメタ技術	金出 武雄 <PHP文庫:2004年> 「素人のように考え、玄人として実行する一問題解決のメタ技術」 米国カーネギーメロン大学ロボット研究所を世界最大の研究所にした人工知能、ロボット工学の世界的権威が教える知の技術の話。	人工知能、ロボット工学の世界的権威。アメリカ大陸自動運転横断ロボットやスーパーボウルで使われたアイビジョン・システムなどの先進開発の中心的役割を果たし今もっともアメリカで注目される研究者。新しい知の技術を鍛える方法の伝授。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	発想は単純、素直、自由、簡単 邪魔するもの:知識(知っていると思う心) 素人発想、玄人実行	松浦 博一	大阪大学C0デザインセンター	教員・研究員
63	(5) その他③若手支援		Researcher Academy	エルゼビア社の提供する、無料で利用可能な若手研究者向けのe-learningプラットフォーム。Funding, Writing skills, Ethics, Ensuring visibility等々、研究プロセスに応じた計17トピック別に、各トピック数分~数十分の動画で構成されており、若手研究者が一般的な研究プロセスの全体像を知るために有益。ただし17トピックすべてが動画のため、視聴に時間がかかることが難点。	ウェブサイト	<a href="https://researcheracademy.elsevier.com/">https://researcheracademy.elsevier.com/</a>	英語	若手研究者、e-learning	横山 明德	早稲田大学研究推進部	事務職員
64	(5) その他④異分野交流・連携	ビジネス創造	DBIC デジタルビジネス・イノベーションセンター	DBIC(デジタルビジネス・イノベーションセンター)は、日本の大手企業やベンチャーが業種や規模の枠を超えて集い、デジタル技術を駆使したビジネスイノベーションを起こす開発拠点として2016年5月20日に設立。参加企業同士、参加企業とベンチャー、あるいは産学が連携して、エコシステムを構築して、新しいビジネスを創造し、競争力を上げていくことを目的とするプラットフォーム。	ウェブサイト	<a href="https://www.dbic.jp/">https://www.dbic.jp/</a> (閲覧日:2018年6月22日)	日本語	「Digital Transformation」 「Design Thinking」 「Discover Myself」	松浦 博一	大阪大学C0デザインセンター	教員・研究員
65	(5) その他④異分野交流・連携		Science of Team Science/ SciTSメーリングリスト	近年、チームサイエンスの科学(Science of Team Science/ SciTS)が注目を集めている。SciTSとは、実証的根拠に基づきチームサイエンスに対する研究開発、人材育成、実施支援を行い、チームサイエンスの効果・効率の最大化、科学的・社会的インパクトの解明、アカデミアの構造変容を目指す学際的教育研究分野である。Science of Team Science (SciTS)メーリングリストは、そのようなチームサイエンスの科学に関わる方々の情報共有の場になっている。また、www.teamsciencetoolkit.cancer.govではチームサイエンスを実施する際に役立つツールキットが公開されている。	メーリングリスト	TO SUBSCRIBE: Send an email with a blank subject line to: listserv@list.nih.gov. The message body should read: subscribe SciTSlist [your full name]. Please do not include the brackets. For example, for Robin Smith to subscribe, the message would read: subscribe SciTSlist Robin Smith. You will receive a confirmation email.	英語	学際研究、異分野融合研究、チームサイエンス	押海圭一	人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 IR室	URA・IRer
66	(5) その他④異分野交流・連携		マイケル・ギボンズ(1997)『現代社会と知の創造—モード論とは何か』丸善ライブラリー	知識生産の様式(モード)が、これまでのモノディシプリナリーかつアカデミックの中でとどまっている状況(モード1)から、マルチディシプリナリー・トランスディシプリナリーかつ社会と協働する方向(モード2)に変化しつつあることを述べた本。地球研のトランスディシプリナリーを語る際にも触れられることが多い。「人文科学の場合」と題する章もある。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	超学際研究、モード2	押海圭一	人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 IR室	URA・IRer

NO	URAスキル標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など(最大200字程度)	資料形態	閲覧方法(ウェブ上にある場合はURLを)	言語	キーワード(3つまで、自由に)	入力者名	所属組織・部署	職種＝主な担当業務
67	(5) その他⑥大学運営への理解促進	組織のオペレーション経営トップとミドルと現場	遠藤功「現場力の教科書」(2012年)	あらゆる経営戦略にはそれを実行する「現場力」が不可欠だとし、具体的な企業の現場を取り上げながら「現場力」の本質に迫る書物。	書籍	書店で購入/図書館で閲覧	日本語	「見える化」「伝える化」「つなぐ化」	松浦 博一	大阪大学C0デザインセンター	教員・研究員
68	(5) その他⑥大学運営への理解促進		[2018年5月] 国立大学法人の財務諸表を用いた研究活動の実態把握に向けた試行的な分析	法人化後の財務状況の参考資料。	報告書	<a href="http://www.nistep.go.jp/archives/37035">http://www.nistep.go.jp/archives/37035</a>	日本語	財務	白川展之	文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術・学術基盤調査研究室	その他
69	(5) その他⑥大学運営への理解促進		[2018年4月] 科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2017) 報告書	現場の生の声をそのまま出すわけにはいかない場合に、ここにある意見(自由記述)等を引用することで、角が立たないようにすることができる。	報告書	<a href="http://www.nistep.go.jp/archives/36213">http://www.nistep.go.jp/archives/36213</a>	日本語	研究現場、研究者、研究支援者	白川展之	文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術・学術基盤調査研究室	その他
70	(5) その他⑥大学運営への理解促進		[2018年3月] 日本の大学システムのアウトプット構造:論文数シェアに基づく大学グループ別の論文産出の詳細分析	基礎資料として利用されていると思いますが、その限界をまえて議論したいです。	報告書	<a href="http://doi.org/10.15108/rm271">http://doi.org/10.15108/rm271</a>	日本語	論文分析	白川展之	文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術・学術基盤調査研究室	その他
71	(5) その他⑦その他	(2) プレアワード業務①研究プロジェクト企画立案支援/(3) ポストアワード支援③プロジェクトの予算管理	大阪大学旅費支給要領・大阪大学謝金単価表	これがなくては始まらない資料。研究計画段階の予算案作成から研究期間中の予算執行まで常に参照する資料。	ICHO文書	ICHO(学内のみ)	日本語	大阪大学、予算、基準	山田 綾子	大阪大学大学院法学研究科	URA・IRer
72	(5) その他⑦その他	図書館による研究支援	市古みどり(2016)「大学図書館による研究支援の可能性」, 情報の科学と技術, 66(2), p.67-71	図書館は、研究者の時間節約のために何が出来るか。「資料を核とするサービスから図書館(員)の持つ機能・知識・技術を活かしたサービスへの転換が必要である。当面、大学内での役割としては、関係部署間の溝を埋めるリエゾンやコーディネーターが考えられる。」	論文	<a href="https://www.istage.ist.go.jp/article/ikg/66/2/66_67/article/-char/ja/">https://www.istage.ist.go.jp/article/ikg/66/2/66_67/article/-char/ja/</a>	日本語	大学図書館、オープンアクセス、リエゾン	日高正太郎/井上直子	大阪大学 附属図書館 図書館企画課/利用支援課	図書館職員
73	(5) その他⑦その他	図書館による研究支援	加藤信哉(2014)「大学図書館の研究支援」, 薬学図書館, 59(2), p.91-99	研究支援において大学図書館に求められている知識と現状とのギャップについて知る。「大学図書館に求められる機能・役割を確認し、オープンアクセスの進展と情報発信について展望する。また、英国の研究支援に関連する最近の調査報告とロンドン大学キングズカレッジ図書館サービスによる研究支援の事例を紹介し、後に今後の大学図書館の研究支援について検討する。」	論文	<a href="http://hdl.handle.net/2241/119626">http://hdl.handle.net/2241/119626</a>	日本語	大学図書館、オープンアクセス、学術情報流通	日高正太郎/井上直子	大阪大学 附属図書館 図書館企画課/利用支援課	図書館職員
74	(5) その他⑦その他	図書館による研究支援	筑波大学附属図書館 学習・研究支援体系図	研究支援のために大学図書館が現在実現可能なプログラムを俯瞰できる。「高等教育のための情報リテラシー基準 2015年版」(2015年3月)を踏まえて、附属図書館における学習・研究を支援する活動のうち、複数の学習者または研究者を対象としたもの(マササポートプログラム)を、情報活用行動プロセスの場面とレベルによって分類・配置したものです。」	ウェブサイト	<a href="https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/about/systemdiagram">https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/about/systemdiagram</a>	日本語	大学図書館、セミナー、ワークショップ	日高正太郎/井上直子	大阪大学 附属図書館 図書館企画課/利用支援課	図書館職員
75	(5) その他⑦その他	研究データ管理	オープンサイエンス時代の研究データ管理	動画教材。「研究データ管理に関する基礎的な知識を得るためのものです。研究活動に伴い研究データがたどるプロセスとその管理のあり方について理解し、(中略)効果的な研究データ管理を行うための方法について学ぶことができます。【対象者】①大学や研究機関等において研究者の支援に携わる方(図書館・IT部門・研究支援部門の職員(URA含)、研究室で研究補助業務に携わる方等)②オープンサイエンスや研究データ管理に関心のある方	動画	<a href="https://www.nii.ac.jp/service/imooc/rdm/">https://www.nii.ac.jp/service/imooc/rdm/</a>	日本語	大学図書館、研究データ管理、オープンサイエンス	日高正太郎/井上直子	大阪大学 附属図書館 図書館企画課/利用支援課	図書館職員
76	(5) その他⑦その他	研究データ管理	RDMトレーニングツール(オープンアクセスリポジトリ推進協会)	以下、抄録より。「主に大学や研究機関等の研究支援職の方(図書館員や情報技術職員、URAなど)に向けて作成されたもので、1)各学習者が研究データ管理に関する基礎的な知識を得ること、2)各学習者が自機関における研究データ管理サービス構築の足掛かりを得ること、を目的としている。第1章:導入/第2章:データ管理計画(DMP)/第3章:保存と共有/第4章:組織化、文書化、メタデータ作成」ほか。	プレゼン資料	<a href="http://id.nii.ac.jp/1458/0000023/">http://id.nii.ac.jp/1458/0000023/</a>	日本語	大学図書館、研究データ管理、オープンアクセス	日高正太郎/井上直子	大阪大学 附属図書館 図書館企画課/利用支援課	図書館職員



NO	URAスキル標準に準拠した分類	一分類が「(5) その他⑦その他」の場合、具体的に入力	書誌情報	主な内容、推薦理由、効果的な使い方など（最大200字程度）	資料形態	閲覧方法（ウェブ上にある場合はURLを）	言語	キーワード（3つまで、自由に）	入力者名	所属組織・部署	職種＝ 主な担当業務
77	(5) その他⑦その他	人社系URA業務の高度化	Net4Societyウェブサイト	EUのHorizon 2020のSocietal Challenge 6のNCPが連携して取り組むプロジェクトのウェブサイト。Horizon 2020の公募情報の分析および提供（人社系と自然科学系の連携での応募促進）、研究者ネットワーク支援（イベント、データベース）、NCPのスキルアップ支援など、人社系研究者に対するNet4Societyの多岐にわたる支援活動を知ることができる。日本における人文・社会科学系研究振興のためのヒントが見つけれられるかもしれない。	ウェブサイト	<a href="http://www.net4society.eu/">http://www.net4society.eu/</a> (閲覧日：2018年6月8日)	英語	海外の事例、人社系と自然科学系の連携	川人よし恵	大阪大学経営企画オフィスURA部門	URA・IRer